

提携病院チョンワマンダウエホスピタルでの診察レポート！

プレミア・ホテルキャンパスでは、学校近くの総合病院**セブチョンワマンダウエ病院**（Cebu Chong Hua Mandaue Hospital）**ジャパニーズヘルプデスク**と提携しており、留学生の方が決まった曜日にホテルで**医師の往診**を受けたり、**病院にてキャッシュレス診察**を受けたりすることができます。

※海外旅行傷害保険に加入している方が対象で、事前予約と保険証書の確認や書類の記入が必要です。

学校の日本人スタッフ経由で予約すると、お医者さんと日本人スタッフさんがホテルまで来てくれて、ホテルの自室で診察をしてくれるので、「緊急で病院に行くほどではないけどちょっと体調について相談したい」「わざわざ病院に行くのは面倒」という場合にも気軽に利用できます。

そして、往診の結果、レントゲンなど病院内での検査や点滴等が必要になった場合には、**病院へ行くこと**になります。

フィリピン現地の病院に行くのは不安ですよ。

できれば避けたい（往診だけで済ませたい）とは思いますが、今回、プレミア・ホテルキャンパス日本人スタッフである私がちょうどよく（笑）怪我をしまして、提携病院で診察を受けてきました。

病院内の様子や診察の流れなどをレポートしますので、参考にしてください！

日本人スタッフの怪我と診察予約

私（プレミア・ホテルキャンパスの学校日本人スタッフ）は日頃セブ島に到着したばかりの留学生の方に、「フィリピンの道路の舗装状態は日本のように綺麗じゃないので、歩きスマホはしないでくださいね！道路に大きな穴が開いてたりしたら怪我しますよ」と言っています。

…言っているのですが、先日ダウンタウンエリアへ出かけた際、地面をよく見ずに歩いていたら道路に落ちていた生ごみを踏んづけて、思いっきり転んでしまいました…。

恥ずかしいやら痛いやらで、すぐにタクシーを捕まえて自宅に逃げ帰りましたが、翌日になっても強打した腰の痛みが取れません。

そこで、学校が提携している**チョンワマンダウエ病院のジャパニーズヘルプデスク**に連絡し、翌土曜日の診察予約を取りました。

（留学生の方が怪我等した場合は、日本人スタッフに LINE で知らせてくださったら病院の予約を取りますし、ご自身で予約していただくことも可能です。）

土曜日に予約なしで（Walk-in で）病院へ行くと、急患扱いになって ER（救急受付）で何時間も待たされる、ということが起こりうるのですが、**事前予約**をしていれば待ち時間はありません。

診察の様子

こちらがチョンワマンダウエ病院のロビーです。広くて綺麗です。



正面の Information（受付）でジャパニーズヘルプデスクの場所を聞くと、「あちらのエレベーターで 8 階へ行き、809 へ向かってください」と案内されました。

ちなみに、2023 年現在、フィリピン・セブの街中ではマスク着用は必須ではありませんが、**病院施設内ではマスクの着用が義務付けられていた**ので、病院に行くときはマスクを忘れずにつけましょう。

そして、病院の Medical Arts Building 8 階にある**ジャパニーズヘルプデスク**の入り口はこちらです。日本語が見えると安心しますね！



中に入って名前を伝えたら、まずは加入している海外旅行傷害保険の保険証書やパスポートや航空券情報（スマホにデータを入れておくと便利）を見せ、個人情報や怪我・病気の経緯を書類に記入します。

私たちが、患者及び医師は、本件に関わるキャッシュレス医療サービスに必要なすべての書類を準備するためジャパニーズヘルプデスクのサポートサービスを依頼します。（サービス内容は、下記サービス項目のチェックマークを参照。）
We, patients and doctors will request Japanese Help Desk assistance service to prepare all the necessary documents for Cashless Medical Services at hospitals. Please see the below check marks for the requested items in detail. JHD will comply with its obligations under the Data Privacy Act and related issuances with respect to any Personal Information, as defined under the Data Privacy Act 2012.

DATE OF CONSULTATION: 2023 /M /D (Weekday /Saturday /Sunday /holiday /Others)

HOSPITAL/CLINIC NAME: _____

DOCTOR'S NAME: _____

PATIENT'S NAME: _____

DIAGNOSIS: _____

MEMO OF SITUATIONS/SYMPTOM: _____

MEMO: _____

JAPANESE HELP DESK CASHLESS MEDICAL SERVICES RENDERED

<input type="checkbox"/>	Out-Patient Consultation	<input type="checkbox"/>	Pulmonary Lab
<input type="checkbox"/>	Emergency Room	<input type="checkbox"/>	Physical Therapy
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	Ultrasound
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	ECG
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	Laboratory (CBC/ Fecalysis/ Urinalysis/ Others)
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	X-ray/ CT-Scan/ MRI/ MRA/ Other
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	Endoscopy/Colonoscopy

わからないところはジャパニーズヘルプデスクの日本人スタッフさんが教えてくれます。
そのあと同じフロア内の診察室へ移動し、血圧や体温を測ってもらった後、ジャパニーズヘルプデスクのドクターによる診察が始まりました。

私の場合、痛みの程度から骨折はしていないと自分でも確信していたのですが、ドクターは私の身体をいろいろ動かしながら診てくれました。



ここで、レントゲンや MRI の撮影が必要と医師が判断すれば、病院内の検査室へ予約を入れてくれます。

私の場合はとりあえず不要ということになりました。

そのあと、診断内容を説明してもらいます。

英語での説明ですが、すぐ隣で日本人スタッフの宮野さんが**通訳**もしてくれるので英語学習中でも安心して説明を受けることができます。

説明に出てきた「Muscle Spasm」という単語に、私が「？」という顔をしたら、ドクターがノートパソコンですぐに Google 翻訳で「Muscle Spasm」を検索して結果（「筋けいれん」）を見せてくれ、宮野さんは「筋肉のひきつれ」と補足してくれました。



また、ドクターが英語で「痛み止めと、**“筋肉をリラックスさせる薬”**を出しますね」と言ったときに、「それって大丈夫なやつ？」と、つい不安な顔で宮野さんの方を見てしまったら、すかさず宮野さんが「**筋弛緩剤とかそういうものでないので大丈夫ですよ！**」と言ってくれました。

私の不安を手にとるように感じ取ってくれて、だいぶ安心しました（笑）

宮野さんの対応がとても手馴れていたのが前職を聞いたところ、日本では看護師さんをされていたそうです！

法律上、フィリピンでの医療行為はできませんが、**日本の医療現場や看護の知識がある方に通訳やサポートをしてもらえるのはとても心強いですよね！**

また、日本とフィリピンの診察システムの違い、薬の違いなどについても日々リアルに体感されているので、フィリピンのやり方に不安を感じたときに日本語で説明してもらえるのも有難いです。

この後、医師が書いてくれた処方箋を持って、ジャパニーズヘルプデスクのスタッフさんが院内の薬局で薬を買ってきてくれます。

診察代も薬代も、**ジャパニーズヘルプデスクが直接私が加入している保険会社に請求してくれる**（キャッシュレス対応）ので、支払いをする必要はありませんでした。

チョンワマンダウエ病院内ツアー

この日の診察中、ドクターに湿布的なものが欲しいとリクエストしたのですが、院内の薬局では湿布が切れていたようで、病院の外の薬局に買いに行ってくれたらしく、お薬待ちの時間が生じました。

すると宮野さんからのご提案で、病院内を案内してくれることになりました。

チョンワマンダウエ病院は
2016年にできたので、
新しくて綺麗です。



セブシティには、同じ系列の「チョンワ・セブ病院」というのが昔からあるのですが、こちらのマンダウェイの方が新しいので近代的な設備が整っており、ベッド数も660床とより大きな規模となっています。

ロビーには病院のジオラマもありました。



また、病院内の案内板を見ると、様々な科や設備があるのがわかります。

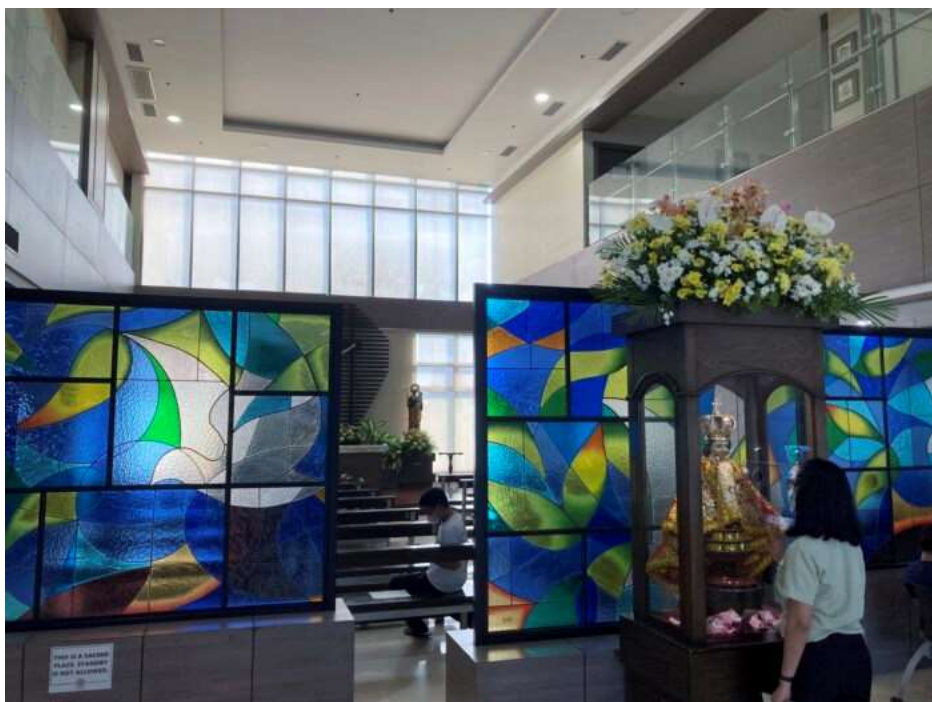
-HOSPITAL	
DEPARTMENT NAME	FLOOR
Basement Parking	B1
Blood Bank	UG
Cancer Center	11F
Cardiology Unit	10F
Emergency	UG
Endoscopy-Bronchoscopy Unit	3F
Eye Institute	5F
General Radiology	UG
Hospital Morgue	B1
Information Technology Office	5F
Laboratory	UG
Medical ICU	3F
Medical Records Section	5F
Neurophysiology Unit	5F
Nuclear Medicine	LG
Operating Room Complex	3F
Outpatient Services	UG
Pediatric ICU	5F
Pharmacy	UG
Private / Suite Room 601-633	8F
Private / Suite Room 801-863	9F
Private / Suite Room 901-963	10F
Private / Suite Room 1001-1063	11F
Private / Suite Room 1101-1163	7F
Private / Suite Room / Ward 701-756	5F
Pulmonary Unit	LG
Radiation Oncology	5F
Rehabilitation Medicine	5F
Renal Unit	5F

MEDICAL ARTS	
DEPARTMENT NAME	FLOOR
Basement Parking	B1
Bio-Medical Office	B1
Engineering Office	B1
Housekeeping & Linen	B1
Security Office	B1
Stock Room	B1
Dietary Services	LG
Foodcourt	LG
Admissions	UG
Billing & Cashier	UG
Executive Health Unit	UG
PhilHealth	UG
10 Dove Street	UG
Executive Offices	3F
Business Office	5F
Central Supply Room	5F
Human Resource	5F
Nursing Office	5F
Doctor's Clinic 601-650	6F
Doctor's Clinic 701-750	7F
Doctor's Clinic 801-850	8F
Doctor's Clinic 901-950	9F
Auditorium	3F
Boardroom	12F

まずは地下にある**フードコート**（食堂）エリアに行きました。
入院している家族や友人を見舞った帰りにご飯を食べられるようにでしょうか、リーズナブルなお店がいくつか入っていて、普通ににぎわっていました。
隣にはちょっとお金持ち向けのおしゃれなカフェもありました。
入院患者自身も、食事制限がない場合は結構いろんな種類のものが病院内だけで食べられそうだな、と思いました。



あと、病院内に**チャペル**があるのが、キリスト教国らしい！と思いました。
青いステンドグラスが綺麗で、キリスト教徒じゃなくても心が穏やかになりそうです。



こちらは**放射線科**です。病院内にはがんセンターもあります。



下は**支払いエリア**です。



ジャパニーズヘルプデスクを利用しない場合や保険に入っていない場合、入院時にはフィリピンペソの現金もしくはクレジットカードなどを用意して、Cashierで入院一時金（デポジット）を支払わなければなりません。

海外旅行傷害保険の対象となる怪我や病気で入院する場合は、そういった手続きもすべてジャパニーズヘルプデスクへお任せできるので、このエリアに行く必要はありません。

セキュリティの関係上、中には入れませんでした。入院病棟の入り口も見せてもらいました。とても清潔そうな雰囲気です。

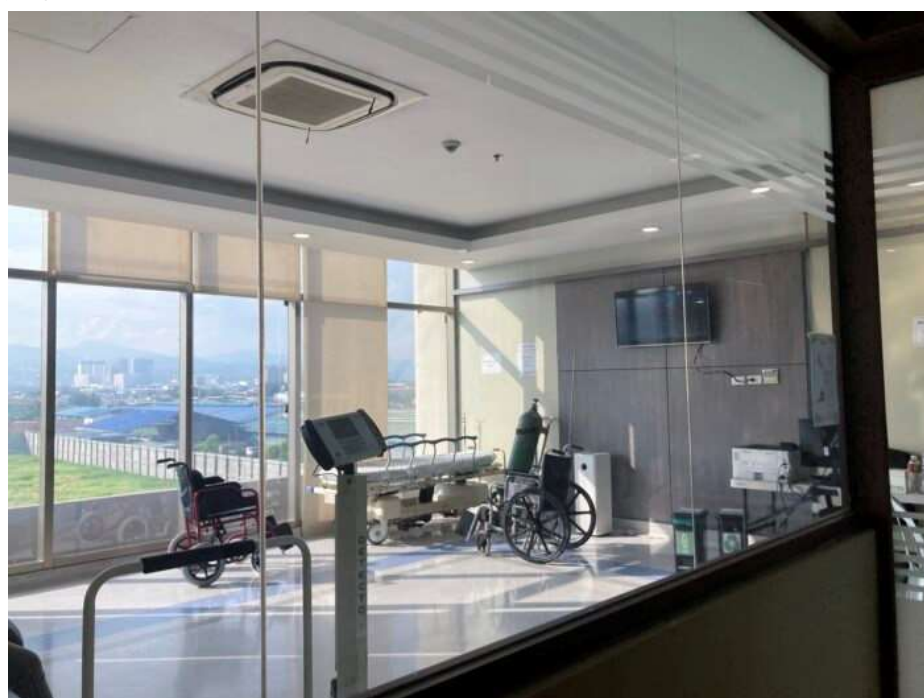


私、昔セブシティのチョンワ病院とセブドクターズホスピタルの両方（どちらもセブでは老舗の大きな病院）に入院したことがあるのですが、やはりどちらも古い建物なので、もっと雑然としていて暗い雰囲気だったんです。

もし次に入院することがあれば、こちらの**チョンワマンダウエ病院**一択だな…！と思いました。

清潔感があり、全体的に明るいのがとても良いです。

リハビリセンターも大きな窓から光がたくさん入っていて、まるでジムみたいでした。



出してもらった薬と湿布

さて、病院内ツアーを終え、ジャパニーズヘルプデスクへ戻ったら、ちょうど薬と湿布が届いていました。



ジャパニーズヘルプデスクが上の説明書を用意してくれていて、「食後 1 回 1 錠」「痛みのある時だけ」「毎食後」「痛み止め」など、飲む頻度や目的を**日本語**で書いてくれているので、一度で説明を覚える必要がなくて助かります。

ちなみに、上の「KETOPROFEN」と書いてある消炎ジェルはとても良く効きました。どういう薬だろう、と思って帰宅後に薬品名を検索してみたら、日本の病院でも出されている**モーラステープ**という消炎用の湿布に含まれている成分のようです。以前私の家族が交通事故に遭ったとき、このモーラステープを日本の病院でもらって貼っていたのを覚えていたので、この説明を見てとても安心しました。

フィリピンで薬を出してもらったら、一度「**薬品名 (英語) + 効能 (日本語)**」で検索してみるのをおすすめします。

意外と日本でなじみのある薬だったりすることもありますし、日本での処方例や副作用

用が日本語で確認できると、より安心できます。

また、自分の**健康にかかわる英単語だと、結構しっかり記憶に残る**ので、勉強的にもいいかもしれません。

私は今回、Muscle Spasm は完全に覚えました！

セブ島留学中、病院に行く機会が一度もないのが何よりではありますが、万が一の時は、保険とジャパニーズヘルプデスクをうまく活用して現地の病院を利用してみてください！